KODAK Gray Scale
Kodak
LICENSED PRODUCT

3E-(8)
5769
5

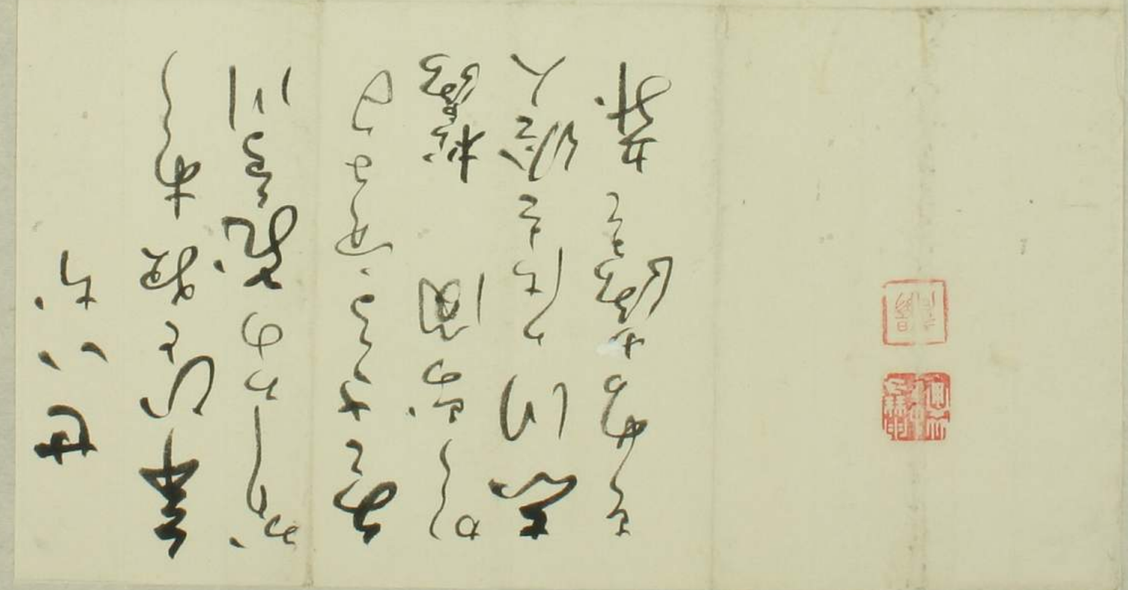
寛政二庚戌年

歳旦

活花之國

楽其楽而
利其利

たゝ起てかゝ
祝りの春
東風の柳も
忘れひめ
うゝこの船出の
楽も磯辺り



寛政四壬子年

歳旦

大江隆

かすみのこゑ
ゆ
朝の春

この春は四方
山吹の
宮

四の宗院ゟ船の
こゝろの
ゆ
ゆ

千年春こゝ
ろ
ゆ
ゆ

ゆ
ゆ
ゆ

朝四郎三
林屋清次

仙翁
ゆ
ゆ

ゆ
ゆ
ゆ

東京都立中央図書館蔵

寛政五年癸丑

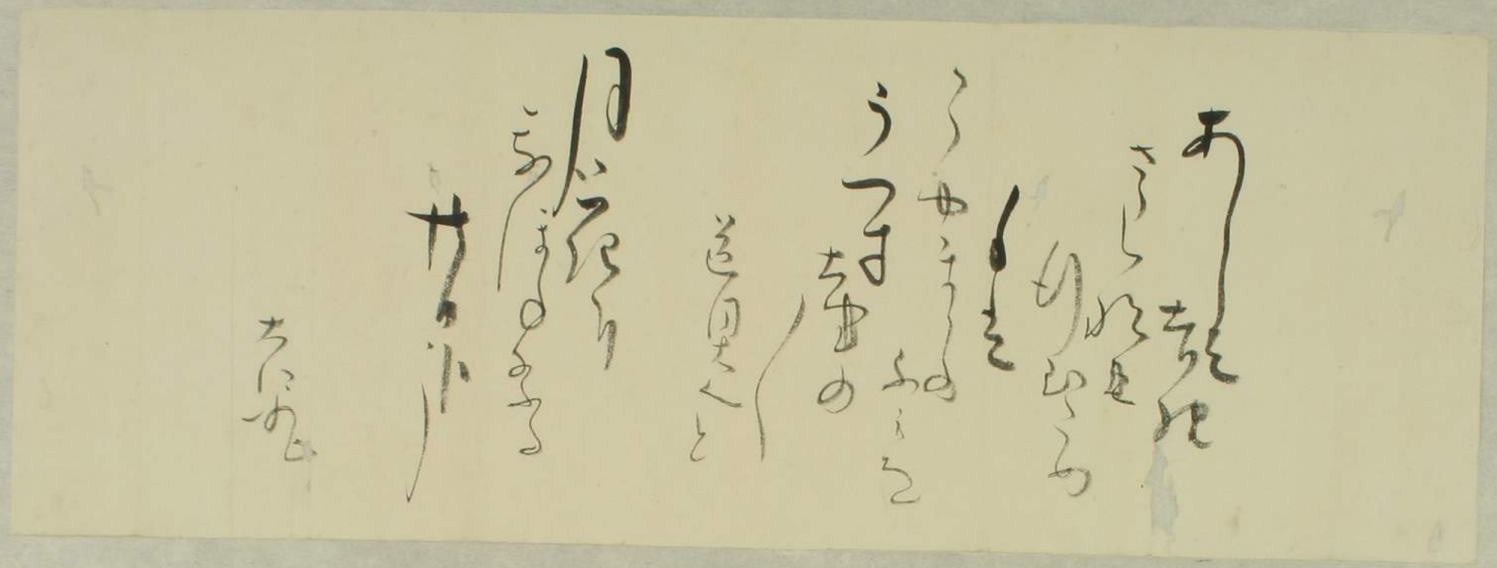
大江隆

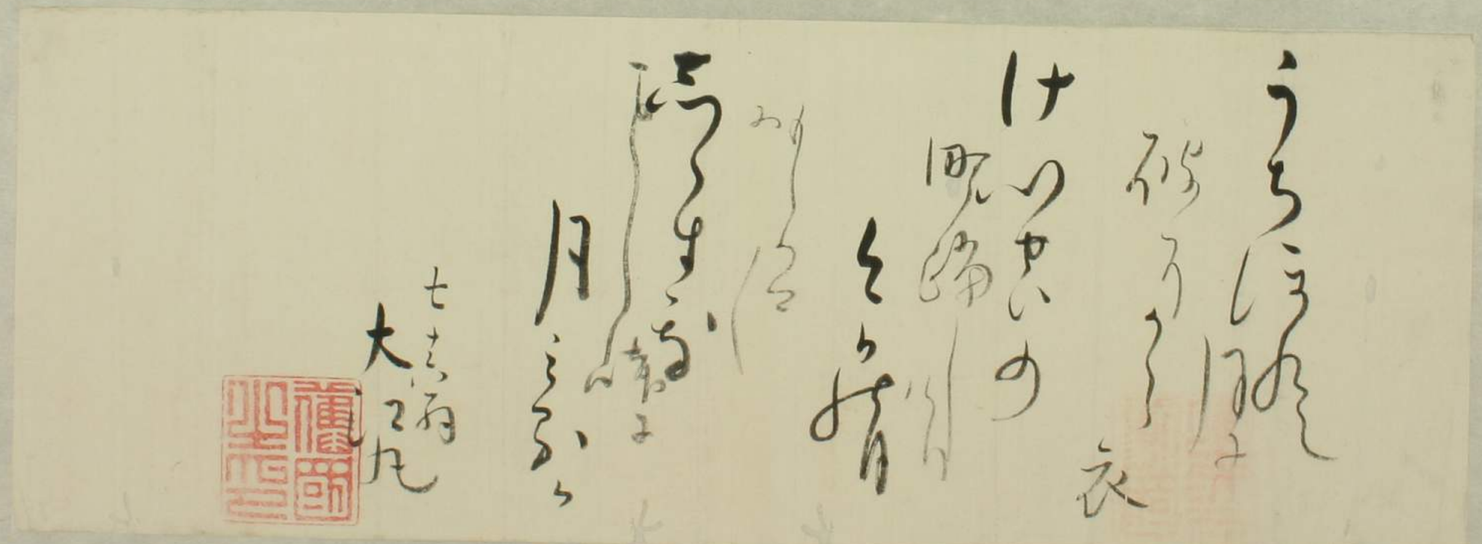
試毫

[illegible]

[illegible]

[illegible]





寛政九年　丁巳

御法のうちにさいしゅの一紀年の降りをぬる

宇宙も定まるかとの松　大江丸

今朝あらし

ちりはのこる月后

[illegible]

[illegible]

[illegible]

競馬

競馬行幸の
墨うの部
四条御源
川雨しに目懸ル
東雲を
雲晴を
山の雲霧この
調わ彩の中を
雲ふりむ
孟柳雪
入江うの
一色を
雲ハ無日ニ
彩京柳の葉底
行こふ人
を望月ニ床
緑ものか
ありと
高砂なる
入山を
月の雲うの
日下ハ費調
ゆゆ
花月
眠り
上戸の
罪ふこう
右第文

墨うの郡

四条御源

川勇し一目懐し

東雲を知る

雲晴て雲雀囀

山の雲霧この頃

湖水の中を望

雲忘れむ

孟柳雪うすく深

入江の水

一毛堂を隠如

芝山無日二如

彩雲柳の条底を

打こすふ人丁髪

を望一目見二床

蝶の夢忘れ如義

ありと色こ宮の

高砂なる東の

入山を見し日保

月の雪うす白

日下山費猶疑

ふ〳〵

花見山眠り上戸の

罪ふこ

右案文

秋の哀

天の川蔦つたやくもの
夢物や波乱ちまの
月ぬる八百屋もたをん
みつの
初しぐれ蛤の子とあるら
更炭とふりり雪の高瓦
もしも更瓦用のふきあれ
むとろ瓦

太

風文

七夕

聖夜を蔦かるとうの
天の川
ちりも釜も文作り
彩灯籠
さし鮎の引手や光
ちちりの鶏
桜行く釜の幽霊の市
松の風
二つ咲木槿の赤し
時々白変
金魚や薄と帰りの
乗かつ
もしもしの日のさ行
雷ちりの
芭蕉葉やうつも表も
月の月

龍田文庫

秋[illegible]

[illegible]

所[illegible]

[illegible]

古戦場

荒野行人絶
空堂孤燭寒
松風吹古骨
分手還寒憶

[illegible]

[illegible]

東文

一[illegible]つゝ数[illegible]

[illegible]

[illegible]

歳旦牡詩

今年吾七十無病古来稀
食物如牛馬足軽猶似兎
かくまでいとのちからもあるかな

花は春やうめさくらやとりのこゑ
ちるはなはくるくるまつ老ぬれば
もはやこれはつゆのいのち一日のうちはにさくら

春の春今日は春と日まれ春
春は春の月のことをいふ数
あれとも春をひとつのみ
ふしぎ今の人文月のこゑをして
あるものをよのつねのこゑ
うつまことあほうのこゑ

大三十日 魂まつり川ひまちかき世のか

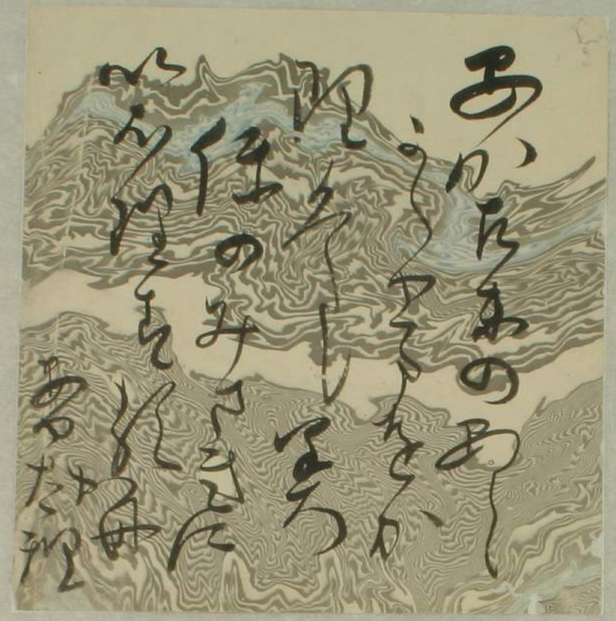
蓑兵

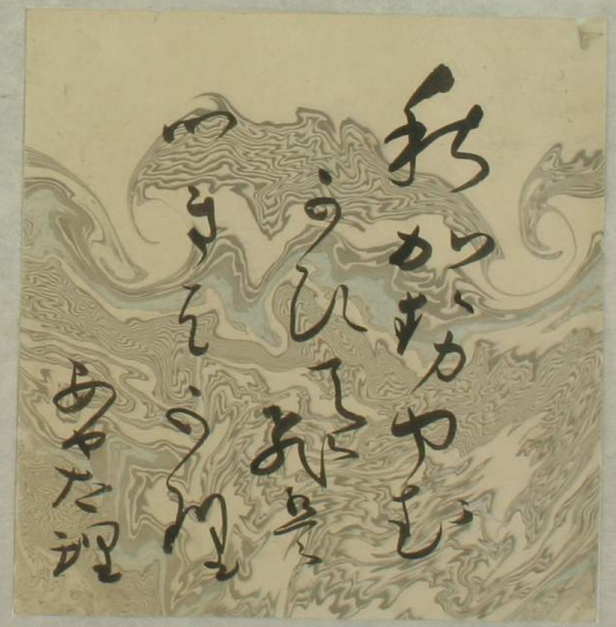
夏は林鳥とぶ夕暮の眠り
紙蚊帳の袖うかぬく夏の夜
眠る間つまれ飛ぶ静かなる
屋の風梅津桂大居士

[illegible]

[illegible]

[illegible]





龍田文庫

龍田舎

四月　東京

行路花

見恋

井水　上岩西し

龍田文庫

歳旦

おさかりに来もそ千年もそ千年ぶ

春真

[illegible]

おりゝゝ鶴に化ぬ[illegible]巻の雪

守歳

いさゝゝ[illegible]卯の年波の静な

六　一露

海日深夜

[illegible]

[illegible]

八[illegible]

[illegible]

万歳

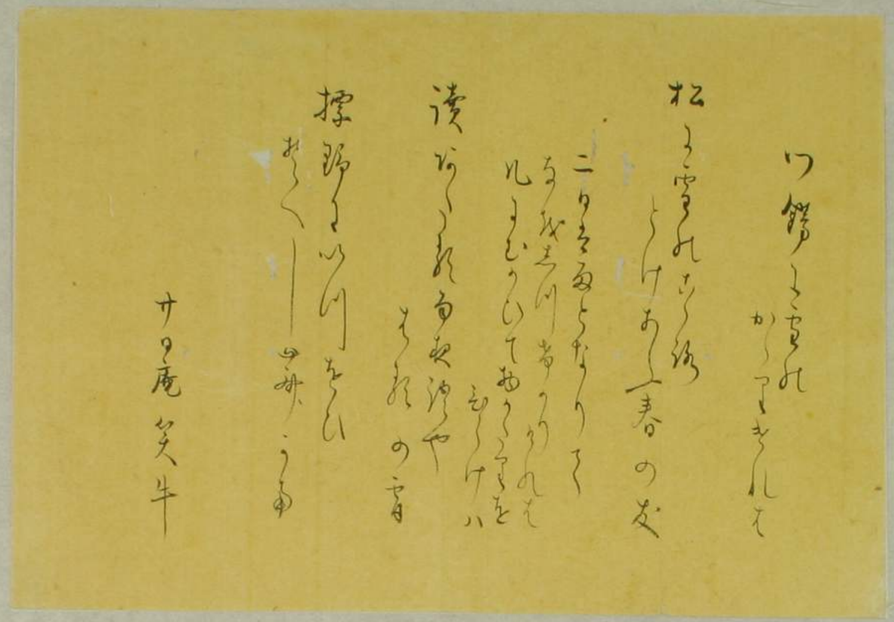
[illegible]

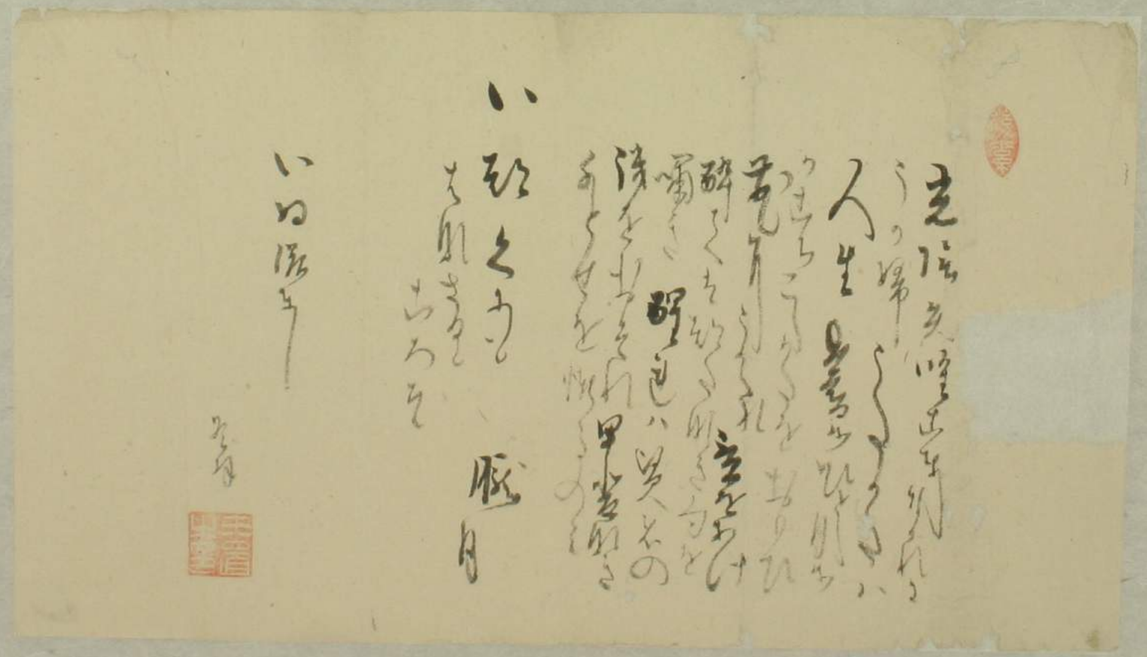
[illegible]

[illegible]

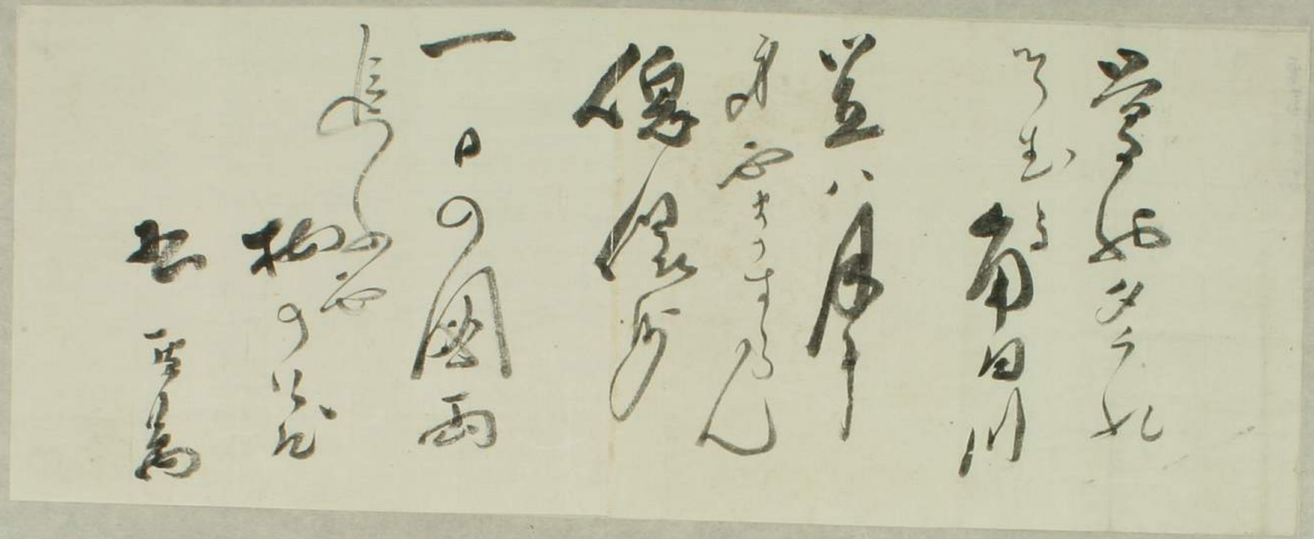
[illegible]

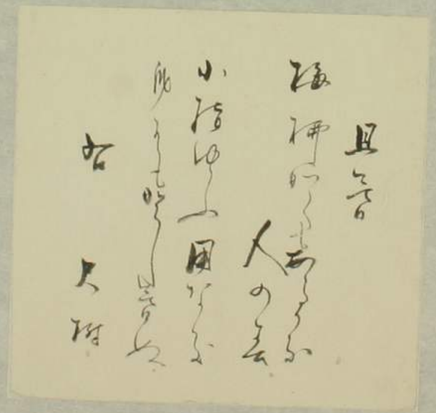
[illegible]

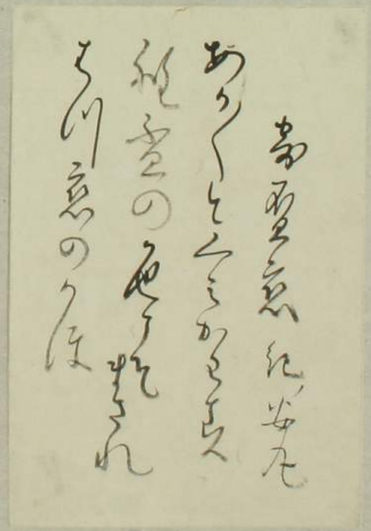


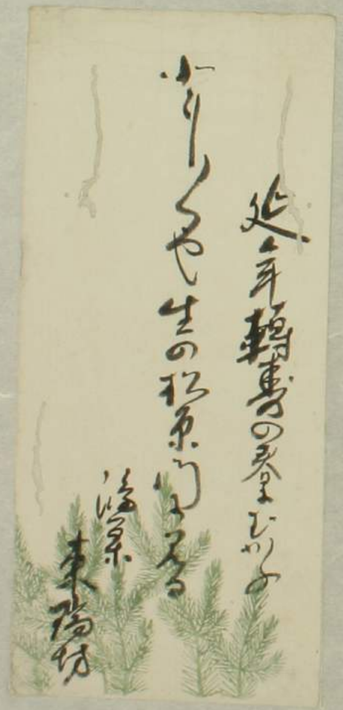


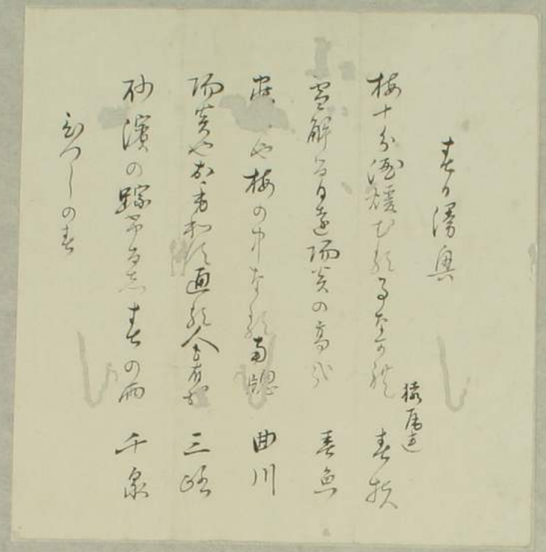
蘆田文庫











荒田文庫

進呈
摺扇壹
愛吳道人筆右

蔦敬是
吳